

校長挨拶

校長 長谷川 紘

白嶺分校の前身の新潟県立高田特別支援学校ひすいの里分校は、平成17年に保護者や地域の人々の熱い願いと大きな運動に支えられて、糸魚川市立糸魚川小学校の6教室分を借り受けるという形で、小・中学部設置の県立特別支援学校として誕生しました。開校以来、糸魚川地区の特別支援教育の中核として、全職員が切磋琢磨しながら保護者や地域の人たち、関係機関と手を携えて、着実な実践を積み重ねてきました。

平成22年度には高等部が新設され、小学部・中学部・高等部が揃いました。小学部1年生から高等部3年生までの児童生徒一人一人のニーズに応じたきめ細かい指導を行うとともに、高等部卒業後の事業所や福祉サービス事業所などでの就労等による社会参加・自立を目指して、進路指導にも力を入れてきました。

平成25年度からは、「糸魚川市立ひすいの里総合学校」（小中学部）と「新潟県立高田特別支援学校白嶺分校」（高等部）に分離し、スタートしました。糸魚川白嶺高等学校の敷地内に分校校舎を建設し、8月末には引っ越しをし、9月から新しい校舎での学習が始まりました。今年度8年目を迎えます。

さて、当校は、生徒の実態はもとより、家庭や地域の実態をもとに、様々な取組を進めています。一つ目は、生徒が自らの力を精一杯発揮して、様々な活動に主体的に取り組むための「個別の指導計画」による実践です。二つ目は、市で作成している「相談支援ファイル」や「個別の教育支援計画」の活用を通じた、一貫した支援の充実です。つなぐ特別支援教育の充実のために、職員一丸となって取り組んでおります。

さらに、「特別支援教育のセンター的機能」を発揮して、従来から実施している中学校、高等学校に対する教育相談を充実させるとともに、地域の保育所・幼稚園、小・中学校でのキャリア教育に寄与するために、当校教育課程の説明や授業参観の受け入れを積極的に行っています。

最後になりますが、学校は、生徒の幸せのためにあります。すべての生徒が「今日は充実していた。明日は何しようかな。」と実感できる存在でありたいと思います。そんな今日の活動に満足し、明日を楽しみにできる毎日の活動の積み重ねが、生徒の意欲や自信となり、できることを増やし、将来の幸せにつながっていきます。職員一同、心を合わせ生徒の幸せのために努力してまいります。